

令和 ●●年 ●●月 ●●日 佐賀県みやき町長 殿		提出日を記入	
申請住所 ※住民税 納税住所	〒●●●●-●●●● ●●県●●市●●丁目●番●号 ●●マンション101号 ※上記住所を寄附翌年の1月1日時点の住民税納税住所とみなします	ふりがな	みやき たろう
		氏名	みやき 太郎
		個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
電話番号	000 - 0000 - 0000	生年月日	明・大 昭・平 5 5 ・ 1 1 ・ 2 2

「個人番号」欄には、あなたの個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

- ・個人住民税の納税住所を記入
- ・連絡がつく電話番号を記入

条の7)第2項に規定する特例控除対象寄附金(以下「特例控除対象寄附金」という。)に係る申告の特例(以下「申告の特例」という。)の適用を受ける場合、申告特例対象年の翌年の1月10日までに、申告特例申請書(以下「申告特例申請書」という。)を提出し、かつ、寄附金税額控除の適用を受けるための申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者(以下「特例適用対象者」という。)であることとなる。

寄附者の氏名、個人番号(マイナンバー)、生年月日を記入

出した全ての寄附金(同項第4号に規定する寄附金)に係る寄附金税額控除の適用を受けることができる。

送付した受納証明書でご確認ください

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみです。申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者(以下「特例適用対象者」という。)であることとなる。

1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和 ●●年 ●●月 ●●日	30,000円

2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみです。申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者(以下「特例適用対象者」という。)であることとなる。

確定申告をしない方はチェックを記入

① 地方税法附則第7条第1項(第8項)に規定する申告特例対象寄附者である



(注) 地方税法附則第7条第1項(第8項)に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該当すると見込まれる者をいいます。

- 地方団体に対する寄附金を支出する年の年分の所得税について所得税法第19条第1項ただし書を除く。)の規定の適用を受ける者
- 地方団体に対する寄附金を支出する年の翌年の4月1日の属する年度分の住民税(以下「住民税」という。)の適用を受ける者(以下「住民税適用対象者」という。)

寄附先が5団体以内の場合はチェックを記入

② 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者である



(注) 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数が5以下であると見込まれる者をいいます。

(下記の書類が確認できるようコピーして貼り付けをしてください)

①本人確認書類	②個人番号確認書類
のりしろ 次のうちいずれかの写しを1点 ・マイナンバーカード(表面) ・運転免許証・パスポート ・写真付き身分証明書 または 次のうちいずれかの写し2点 ・健康保険の被保険者証 ・地方税、国税、公共料金の領収書 ・印鑑登録証明書・納税証明書 ・住民票と住民票記載事項証明書 ・母子健康手帳・国民年金手帳 ・写真なし身分証明書	のりしろ ・マイナンバーカード(裏面) ・マイナンバー通知カード どちらかのコピー ※上記をお持ちでない場合は、個人番号記載の住民票の写しのコピーを同封してください

※このスペースに貼れない書類については、本紙裏面に貼り付けてください。

※住所や氏名の変更履歴(裏書き)がある場合は、その部分もコピーして同封ください。

※申請書提出期限：令和 ●●年1月10日(必着)

住所・氏名等の変更があった場合は、上記期限までに「変更届」の提出が必要です。

※太枠内をご記入ください。申請住所の不備・記入間違い、個人番号記入漏れ、添付資料不備がある場合、ワンストップ特例申請をご利用できない場合がございます。ご注意ください。

受
付
日
付
印